

3-1 関東・中部地方とその周辺の地震活動（2000年5月～2000年10月）

Seismic activity in Kanto and Chubu Districts, and adjacent areas (May, 2000-October, 2000)

気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division, Japan Meteorological Agency

関東・中部地方とその周辺の地震活動の内、別項の「東海地域とその周辺地域の地震活動」に記載されなかった地域の活動と、関東地方およびその周辺の地震活動で特筆すべきものについて記す。

第1図には、2000年5月～10月の関東・中部地方とその周辺の震源の深さが700km以浅の地震の震央分布を3か月毎に示す。M4以上の地震に発生月日を付けて別図で示す。

6月3日に千葉県北東部で、M6.0の地震があり、最大震度5弱が観測された。（別項、「千葉県北東部の地震活動」参照。）

6月5日に福井県嶺南地方（敦賀市付近）でM4.7の地震が発生し、最大震度3が観測された。この地震の付近には柳ヶ瀬断層帯があり、この地震の発震機構解の一方の節面がその走向と調和する。この地震の周辺では、1963年にM6.9の越前岬沖の地震、1983年にM5.0の敦賀半島の地震が発生している（第2図）。なお、この地震の北北西約50kmで、1999年11月7日に、M4.8の浅い地震が発生している。

6月7日に石川県西方沖でM6.1の地震が発生し、最大震度5弱が観測された。（別項、「石川県西方沖の地震活動」参照。）

6月26日から、三宅島近海で始まった地震活動は、神津島の東方沖にまで地震活動を広げ、7月1日に発生した最大M6.4の地震（最大震度6強）やほぼ同じ場所で7月9日に発生したM6.1の地震（最大震度6強）を含む地震活動があり、これらの地震に誘発されるように新島西方沖でも地震活動が活発になり、7月15日にM6.3の地震が発生した（最大震度6強）。また、三宅島西方沖でも地震活動が活発となり、7月30日にはM6.4の地震が発生した（最大震度6強）。なお、8月18日にも今回の活動の中心域でM6.0の地震が発生した（最大震度6強）。（別項、「三宅島近海及び新島・神津島近海の地震活動」参照。）

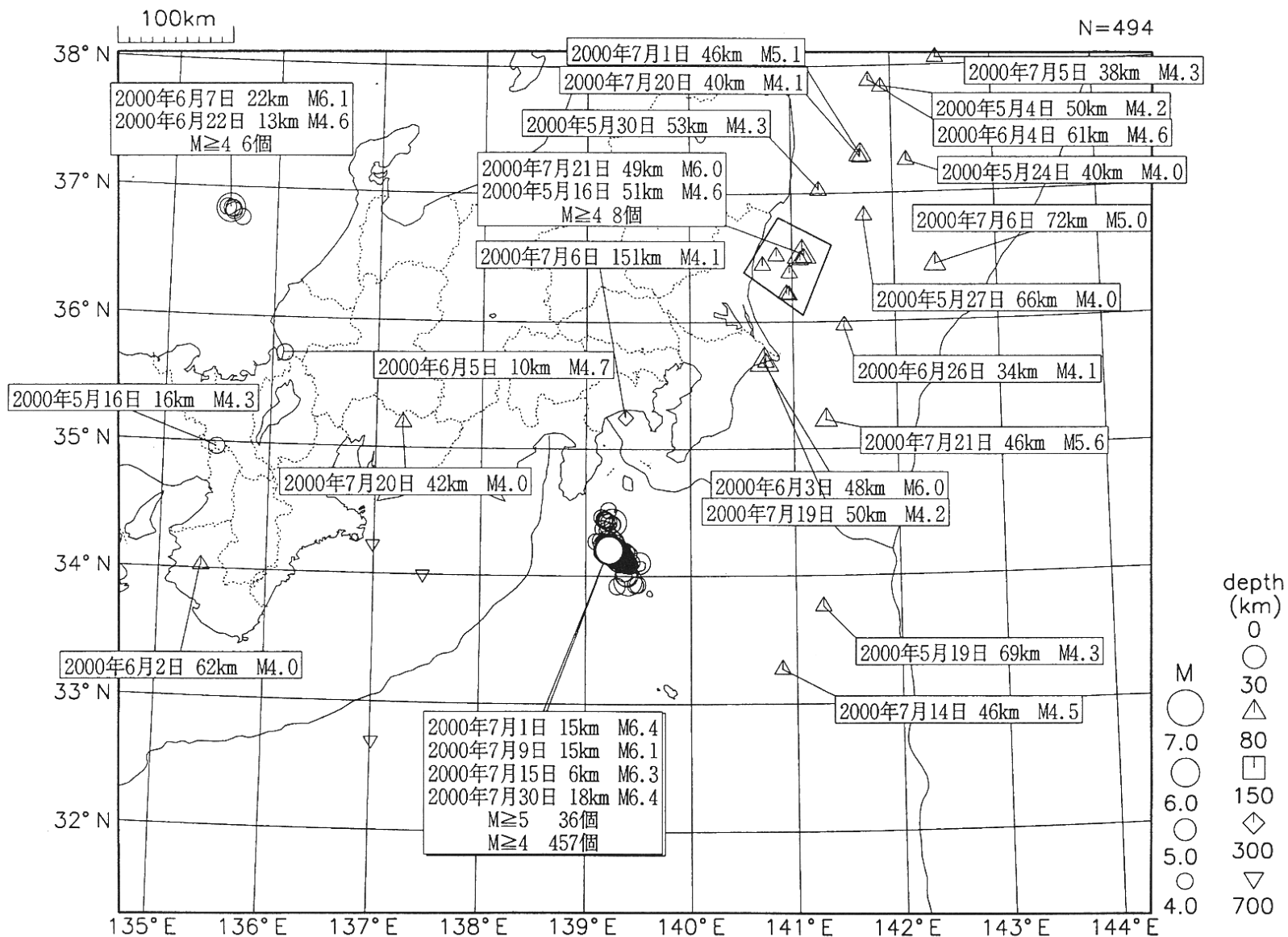
7月21日に茨城県北部沖[茨城県沖]で太平洋プレートの上面付近でM6.0の地震が発生し、最大震度5弱が観測された。この地震が発生した領域は、地震活動が活発で、地震がクラスターをなして分布している。1926年からのM6以上の地震活動を見ると、空間的にまとまって地震が分布しており、10年に1回程度はM6クラスの地震が発生しているようである（第3図）。また、7月21日に房総半島の東方沖で、M5.6の地震が発生した（第4図）。深さは通常の気象庁の震源決定によると46kmとなっているが、CMT解による最適のセントロイドの深さは約20kmとなっている。この地震の余震活動がやや停滞気味になった後、M3.8を最大とするまとまった地震活動も発生している。1997年10月（一元化以降）～2000年6月までの震央分布図をから、この領域が比較的地震活動が活発であること、また、1926年以降のM5以上の地震活動からも、M5～M6程度の地震がよく発生する領域であることが分かる。なお、今回の地震はおおよそ10年ぶりのM5クラスの地震であった。

9月29日に神奈川県東部（神奈川県・東京都境付近）で太平洋プレートの沈み込みに伴うM4.5の深さ約80～90kmの地震があり、最大震度4が観測された。深めの地震に関わらず、この地震に伴う余震が多く観

測された（第5図）。なお、1992年三浦半島の付近の深さ約100kmで発生した1992年2月2日のM5.9の地震では最大震度5が観測され、同年5月20日にはM4.8の余震が発生するなど、多くの余震が観測されている。10月18日のM4.5の地震を最大とするまとまった地震活動が栃木県北部であり、最大震度4が観測された。この周辺では栃木・群馬県境付近の日光周辺の地震活動（第1図dの震央が集中して、黒く見えるところ）が存在するが、今回の地震活動は、この活動の北東に位置する。

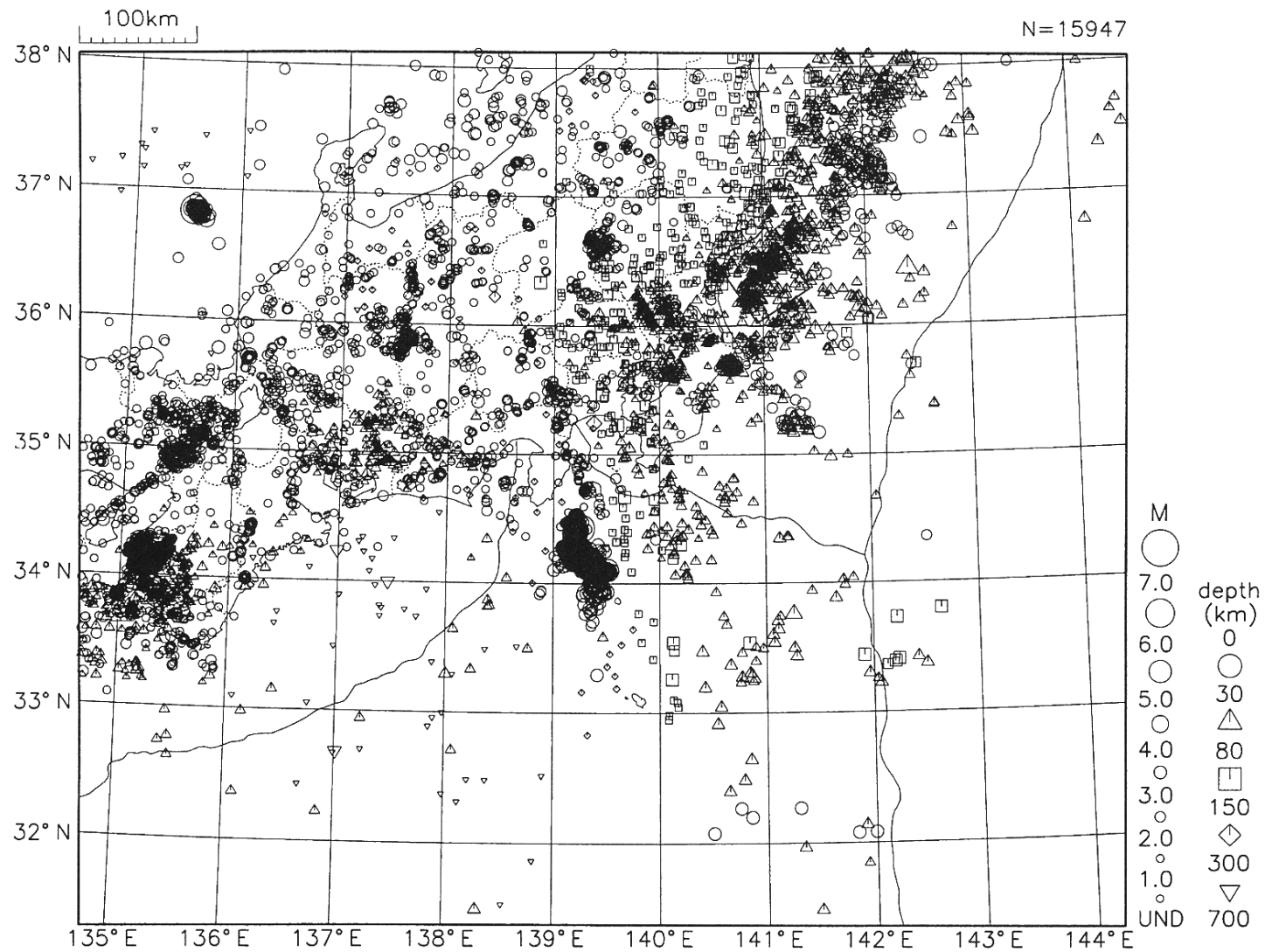
10月31日に三重県中部のフィリピン海プレート内部でM5.5の地震が発生した（最大震度5弱）。（別項、「三重県中部の地震活動」参照。）

注）□ 内の震央地名は気象庁が情報を発表した震央地名、あるいは、それに準ずるものが記載されている。



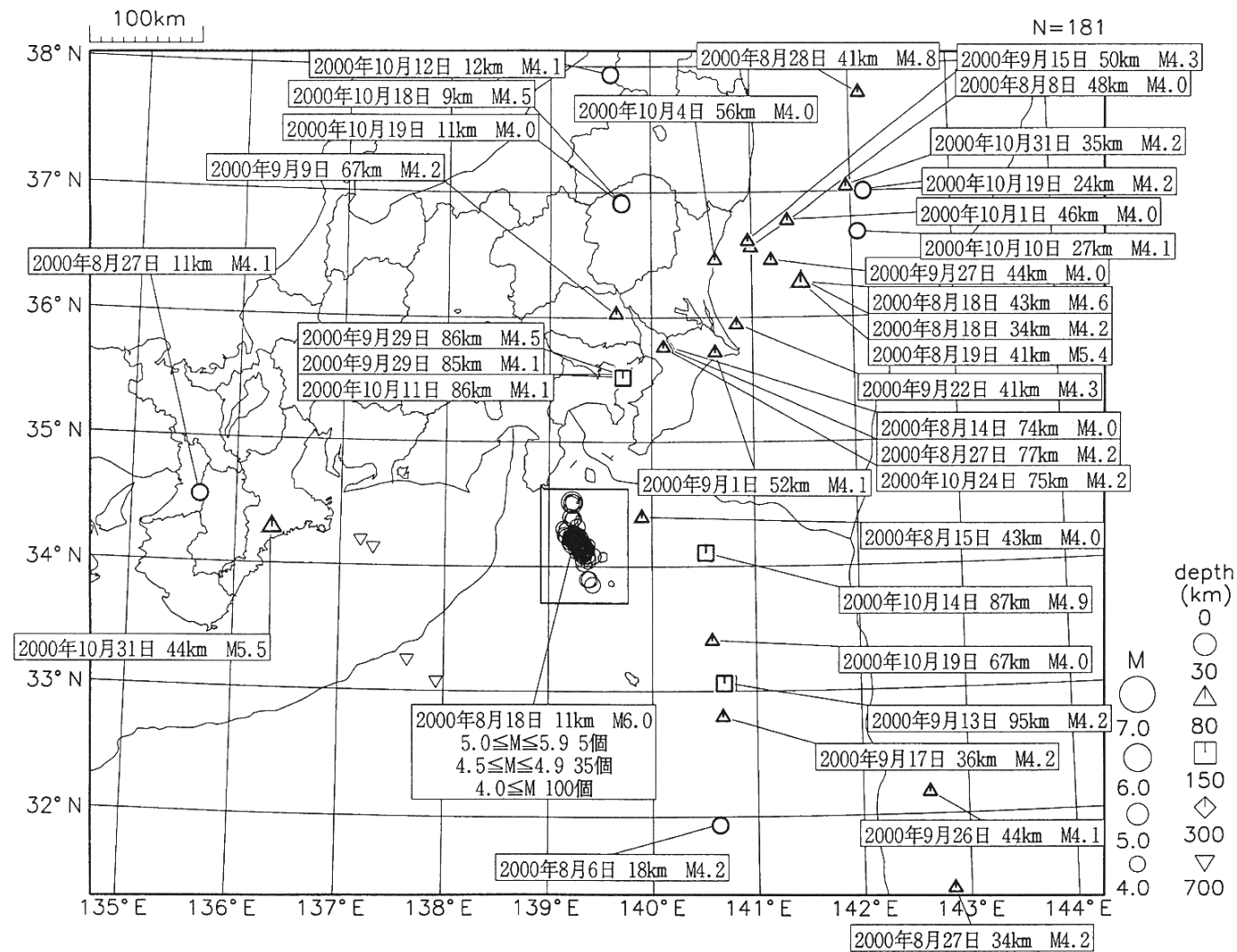
第1図(a) 関東・中部地方とその周辺で発生したM4以上の地震の震央分布 (2000年5月～7月)。

Fig.1(a) Epicentral distribution of earthquakes of M4 or larger in Kanto and Chubu Districts, and adjacent areas (May, 2000- July, 2000)



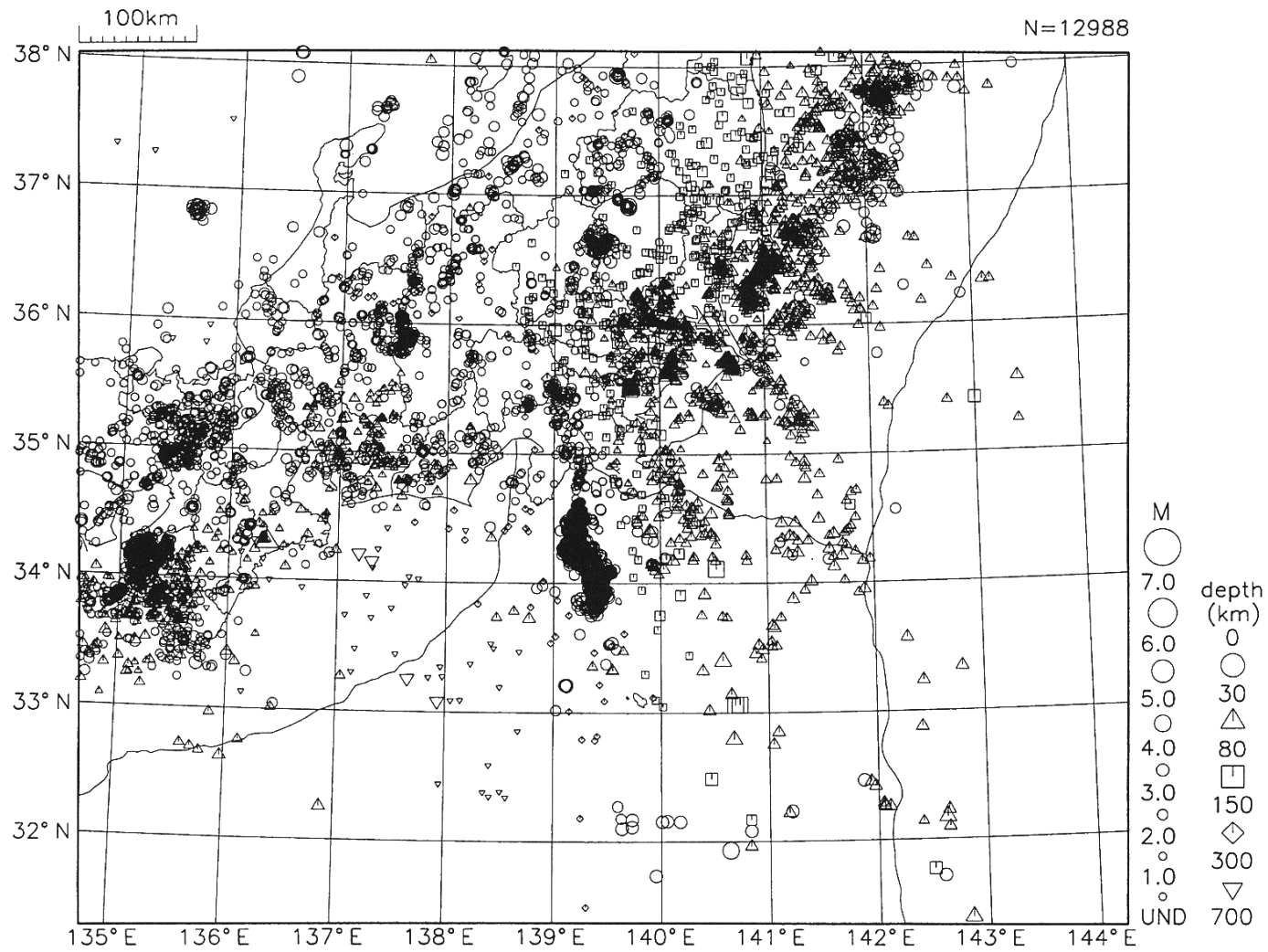
第1図(b) 関東・中部地方とその周辺で発生した地震の震央分布 (2000年5月～7月)。

Fig.1(b) Epicentral distribution of all earthquakes in Kanto and Chubu Districts, and adjacent areas (May, 2000-July, 2000).



第1図(c) 関東・中部地方とその周辺で発生したM4以上の地震の震央分布 (2000年8月~10月)。

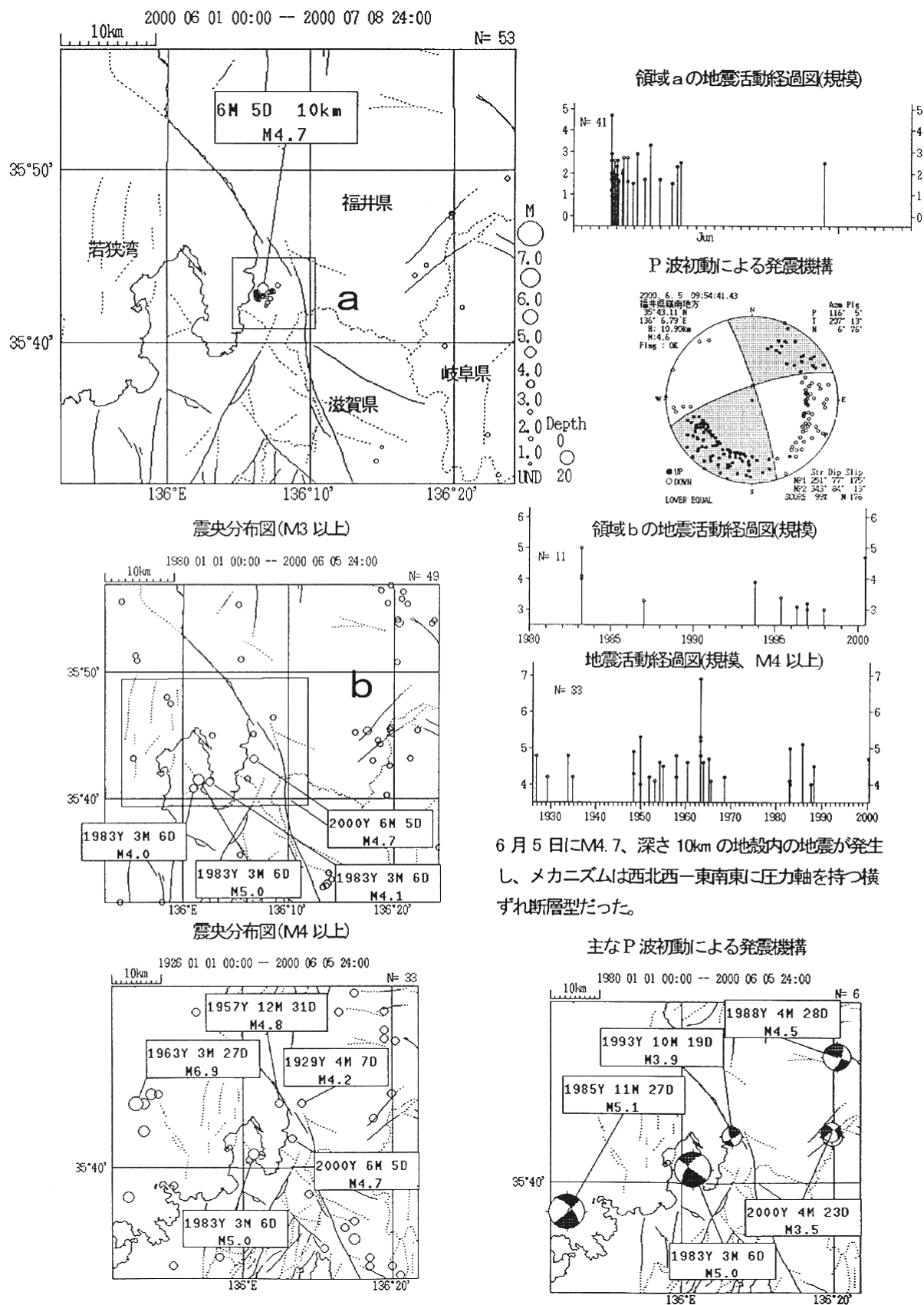
Fig.1(c) Epicentral distribution of earthquakes of M4 or larger in Kanto and Chubu Districts, and adjacent areas (August, 2000-October, 2000).



第1図(d) 関東・中部地方とその周辺で発生した地震の震央分布 (2000年8月~10月)。

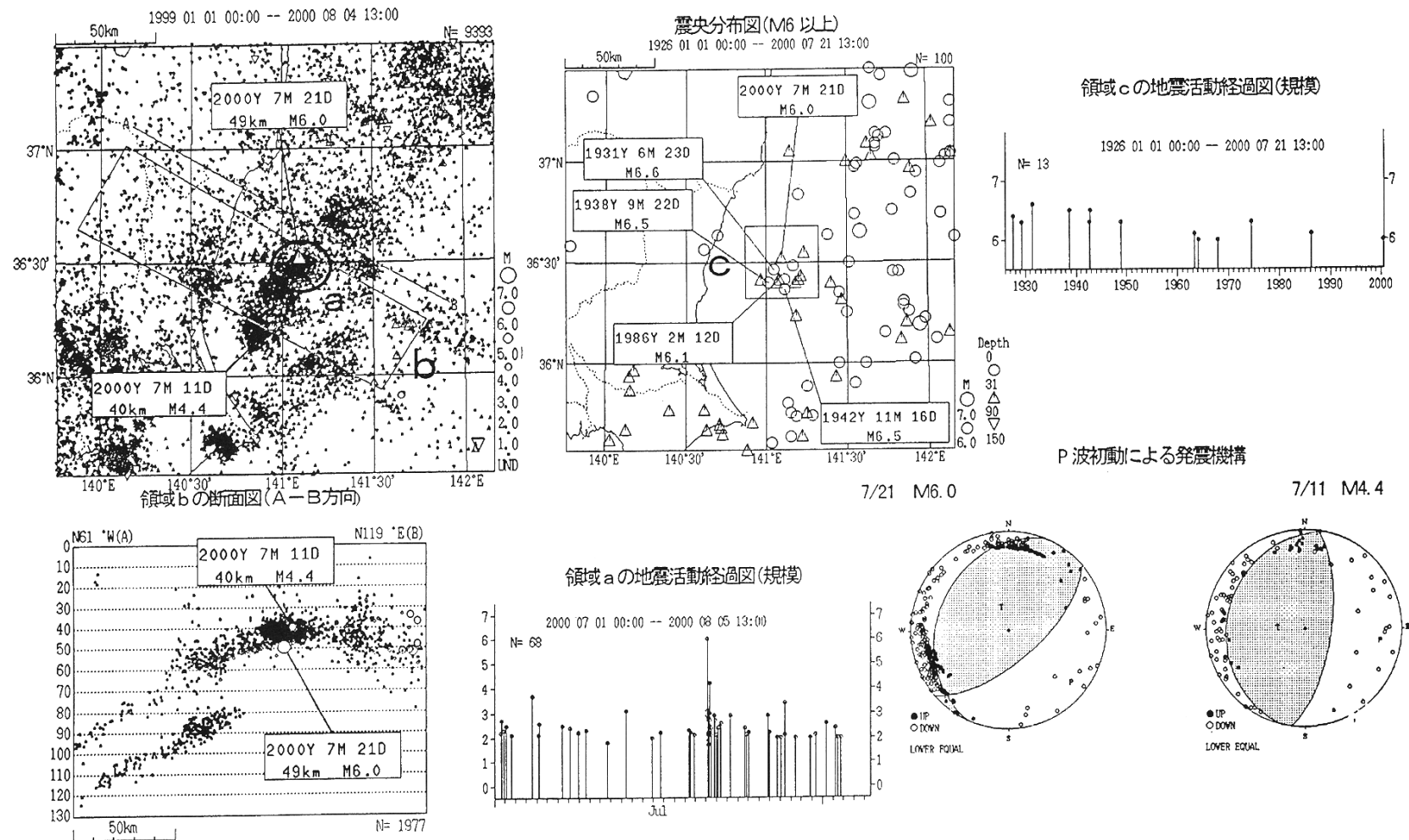
Fig.1(d) Epicentral distribution of all earthquakes in Kanto and Chubu Districts, and adjacent areas (August, 2000-October, 2000).

福井県嶺南地方の地震活動



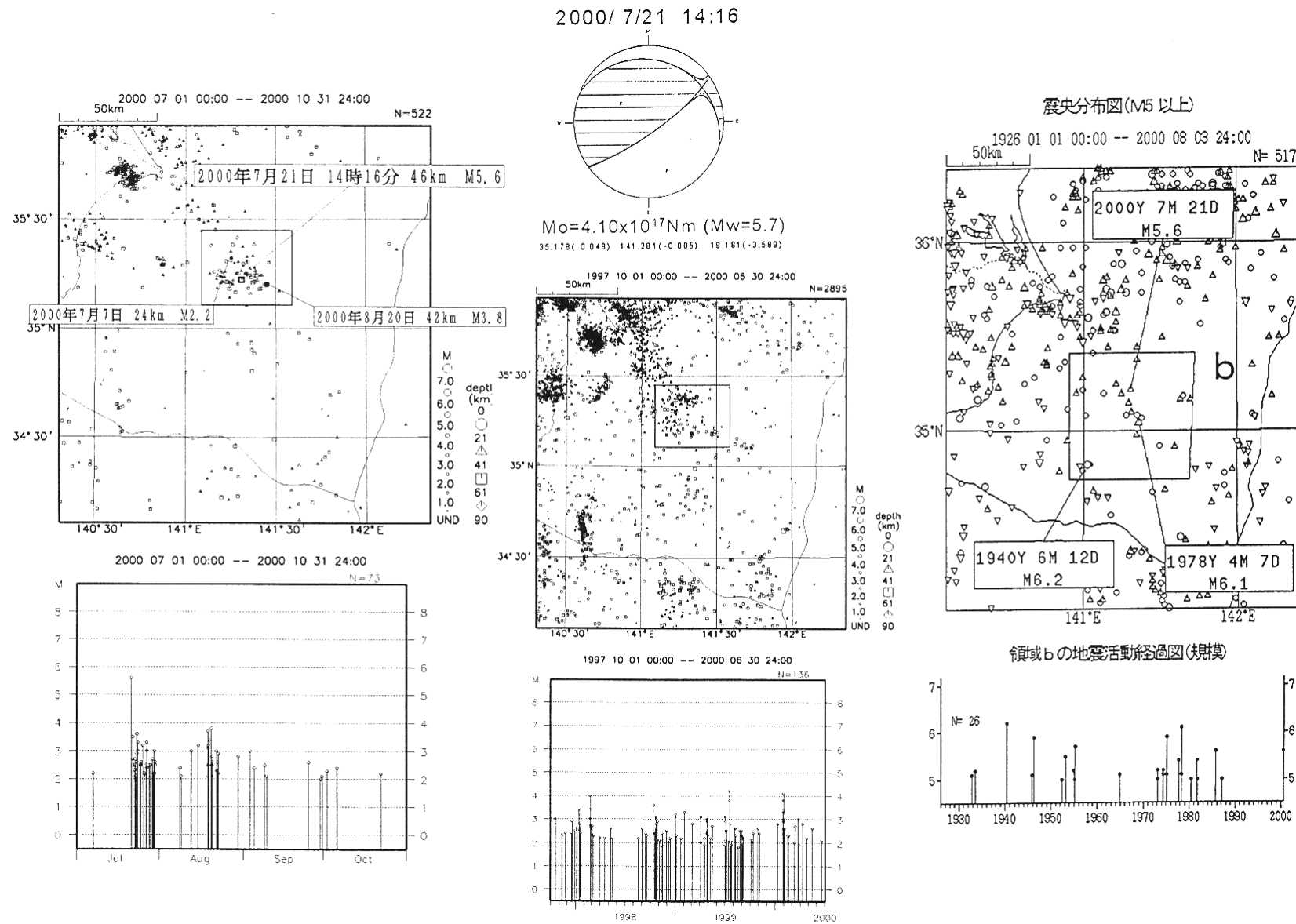
第2図 福井県嶺南地方(敦賀市付近)の地震活動

Fig.2 Seismic activities in the southern part of Fukui prefecture (near Tsuruga city).



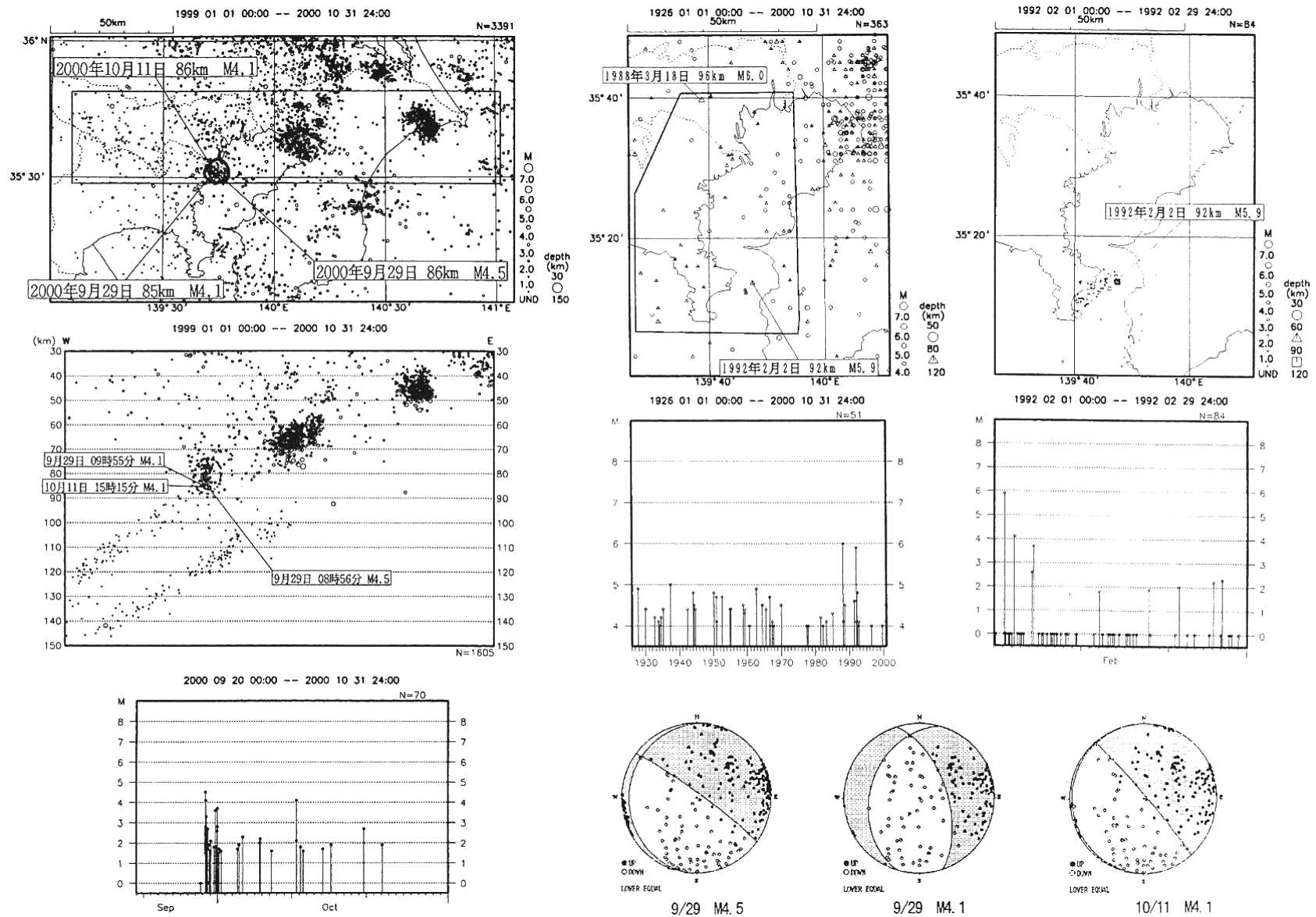
第3図 茨城県北部沖の地震活動

Fig.3 Seismic activities off the coast of the northern Ibaraki prefecture.



第4図 房総半島東方沖の地震活動

Fig.4 Seismic activities off the east coast of the Boso peninsula.



第5図 神奈川県東部（神奈川県・東京都境付近）の地震活動。

Fig.5 Seismic activities of the eastern Kanagawa prefecture (near the border of Kanagawa and Tokyo prefectures).